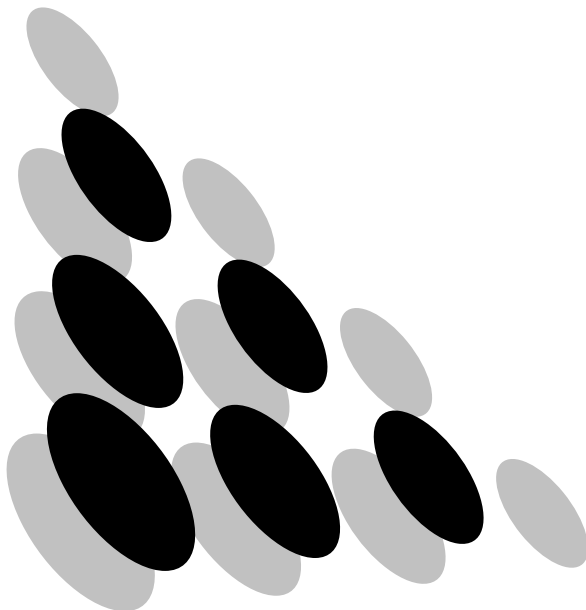


**CELSIUS シリーズ**  
**内蔵 DAT ユニット (CLEDT21)**  
**取扱説明書**



# 目次

はじめに .....	3
梱包物を確認してください .....	3
安全上のご注意 .....	3
保証について .....	4
装置の廃却について .....	5
取り扱い上の注意 .....	5
バックアップ運用上の留意事項 .....	6
搭載可能なワークステーション .....	6
CELSIUS マニュアルの参照 .....	6
<b>1 各部の名称と働き</b> .....	<b>7</b>
<b>2 SCSI-ID 番号の設定について</b> .....	<b>8</b>
<b>3 データカセットについて</b> .....	<b>9</b>
使用上の注意 .....	9
<b>4 クリーニングについて</b> .....	<b>10</b>
<b>5 バックアップの運用に関する注意事項</b> .....	<b>11</b>
<b>6 デバイスドライバについて</b> .....	<b>13</b>
<b>7 仕様</b> .....	<b>14</b>



---

## はじめに

---

このたびは、CELSIUS 用内蔵 DAT ユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、内蔵 DAT ユニット（以下、本製品）の取り扱いの基本的なことからについて説明しています。

ご使用になる前にワークステーション本体の『CELSIUS マニュアル』および本書、特に「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解した上で正しい取り扱いをされますようお願いいたします。また、本書は大切に保管してください。

2002 年 6 月

---

## 梱包物を確認してください

---

お使いになる前に、次のものが梱包されていることをお確かめください。

万一足りないものがございましたら、おそれいりますが、弊社担当営業員または担当保守員までご連絡ください。

- 内蔵 DAT ユニット
- 取り付けネジ（4 個）
- クリーニングカセット（DAT-N）
- 保証書
- 取扱説明書（本書）



---

## 安全上のご注意




---

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。



- 窒息  
・ 梱包に使用しているビニール袋はお子様が入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。  
窒息の原因となります。
- 感電  
・ 異物（水・金属片・液体など）が装置の内部に入った場合は、ただちにワークステーション本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
その後、弊社担当営業員または担当保守員にご連絡ください。  
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。
- 感電  
・ 開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。  
感電・火災の原因となります。
- 感電  
・ 本装置をお客様自身で改造しないでください。  
感電・火災の原因となります。

#### 本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。  
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。  
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。  
・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

## 保証について

- ・ 保証書は必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・ 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理いたします。
- ・ 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・ 修理を依頼されるときは、必ず保証書をご用意ください。

- ・本製品の保守部品の供給期間は、製造終了後5年間とさせていただきます。
- ・本製品の修理・保守およびサポートは日本国内のみに限らせていただきます。  
日本国内以外での本製品のトラブルに対するサービスは行っておりません。  
あらかじめご了承ください。
- ・本製品に関するお問い合わせは、弊社担当営業員または担当保守員までご連絡ください。

---

## 装置の廃却について

---

本製品を廃却する場合、弊社担当営業員または担当保守員に相談してください。

本製品は、産業廃棄物として処理する必要があります。

なお、データカセットをワークステーションで使用していた状態のまま廃棄すると、情報を第三者に見られてしまう恐れがあります。廃棄するときは、データを消去し、復元されないようにすることをお勧めします。

---

## 取り扱い上の注意

---



注意

本製品は精密機器ですので以下のことに注意してください。

- ・本製品を分解したり、解体したりしないでください。
- ・以下の環境／場所でのご使用はおやめください。
  - ・ 極端な高温／多湿環境
  - ・ ゴミや埃（煙草の煙、土埃、排気ガス等）の多い環境
  - ・ 温湿度変化の激しい環境
  - ・ 磁気の影響を受けやすい場所
  - ・ 直射日光のあたる場所
  - ・ 衝撃や振動の加わる場所
  - ・ 発熱器具のそば

また、同環境でのデータカセットの保管はおやめください。

- ・寒い場所から暖かい場所に移動したり、室温を急に上げたりした直後は、内部が結露する場合がありますので、お使いにならないでください。結露したままお使いになると、本製品やデータカセットを損傷することがあります。大きな温度変化があったときは、1時間以上待ってから電源を入れてください。
- ・ワークステーション本体の電源を切るときは、データカセットを取り出してください。
- ・お使いにならないときは、本製品からデータカセットを取り出してください。データカセットを装置に挿入すると、磁気テープの記録面が露出されます。本状態が長く続くと、記録面への埃の付着およびキズ発生の可能性があり、データカセットが永久的に使用できなくなることがあります。また、データカセットを入れたまま本製品を持ち運ばないでください。
- ・データカセット挿入時、無理に押し込まないでください。
- ・内部に液体や金属など異物が入った状態で使用しないでください。もし、何か異物が入ったときは、弊社担当営業員または弊社担当保守員にご相談ください。
- ・本製品前面の汚れは、やわらかい布でからぶきするか、布に水または中性洗剤を含ませて、軽くふいてください。ベンジンやシンナーなど揮発性のものは避けてください。

- ・本製品の基板や電子部品は、人体に発生する静電気によって損傷を受ける場合があります。取り扱う前に、一度大きな金属質のものに手を触れるなどして静電気を放電してください。
- ・ドライブ動作時にカタカタという機械音が発生することがあります。これは、ドライブ内部のクリーニングブラシの動作音であり、ドライブの故障ではありません。

---

## バックアップ運用上の留意事項

---

- ・データの圧縮率は、目安として 2 倍程度となりますが、データの内容により圧縮率は変化します。ソフトウェアにより圧縮処理されたデータでは、本製品による圧縮効果はありません。
- ・以下により、バックアップ性能が変化します。
  - ご使用されるデータカセットの記録面の状態（消耗、汚れなど）
  - 本製品のヘッドの汚れ状態
  - データの圧縮率なお、本製品の最大データ転送速度を発揮するためには、CT20G または CT12000 のデータカセットを使う必要があります。
- ・毎日、同一データカセット一巻によるバックアップ運用では、バックアップに失敗した場合、全データが失われる危険があります。複数のデータカセットによるバックアップ運用を行うことにより、トラブル発生時の被害を最小限にすることができます。

例) 各曜日ごとにデータカセットを用意し、バックアップ用データカセットを毎日取り替える

---

## 搭載可能なワークステーション

---

搭載可能なワークステーション本体は、CELSIUS シリーズ『システム構成図』で確認してください。

---

## CELSIUS マニュアルの参照

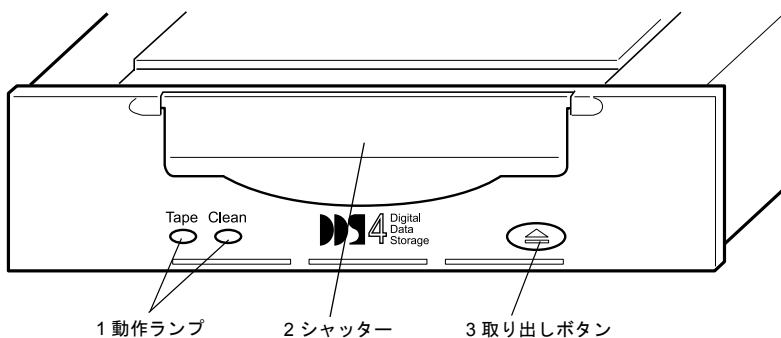
---

本製品の取り付け、ソフトウェア、トラブルシューティングなどの内容は、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET (<http://www.fmworld.net/>) 内の『CELSIUS マニュアル』に記載されています。「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「CELSIUS マニュアル」から参照してください。

Microsoft、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

All Rights Reserved. Copyright© FUJITSU LIMITED 2002

# 1 各部の名称と働き



## 1 動作ランプ

本ランプは表示状態によって以下の状態を示します。

装置の状態	ランプ表示	
	Tape (緑)	Clean (黄)
テープ未装着	点灯なし	点灯なし
ロード中 アンロード中 セルフテスト中	点滅 (0.5 秒間隔)	点灯なし
テープ装着	点灯	点灯なし
テープ動作中	点滅 (0.25 秒間隔)	点灯なし
クリーニング要求 クリーニングカセット交換要求	— (表示状態は無関係)	点滅 (0.5 秒間隔)
装置故障	— (表示状態は無関係)	点灯

## 2 シャッター

シャッター下部の凸部を上押し、データカセットを挿入してください。

## 3 取り出しボタン

データカセットを取り出すときに本ボタンを使用します。ボタンを押して暫くすると、自動的にシャッターが開き、データカセットが排出されます。

注：ヘッドが汚れている場合や、データカセットが消耗している場合は、排出に約1分間要することがありますが、装置の異常ではありません。クリーニングを行ってください。再度、同一現象が発生する場合は、データカセットの交換をお願いします。



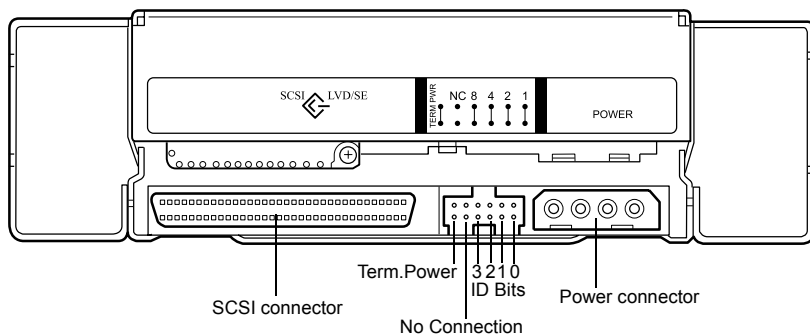
## 2 SCSI-ID 番号の設定について

ワークステーション本体に本製品を内蔵する場合、SCSI-ID 番号の設定が必要になります。

SCSI-ID 番号は、本製品後面（下図）のジャンパピンで設定し、以下の表のように設定することができます。

（その他、ジャンパピン（Term.Power、No Connection）は出荷時設定のままとし、変更しないでください。）

なお、取り外したジャンパピンは大切に保管してください。



ID Bits 3	ID Bits 2	ID Bits 1	ID Bits 0	SCSI-ID 番号
オープン	オープン	オープン	オープン	0
オープン	オープン	オープン	ショート	1
オープン	オープン	ショート	オープン	2
オープン	オープン	ショート	ショート	3
オープン	ショート	オープン	オープン	4
オープン	ショート	オープン	ショート	5*
オープン	ショート	ショート	オープン	6

\* 出荷時設定

## 3 データカセットについて

本製品には以下のデータカセットをお使いください。

品名	商品番号	記憶容量	出荷単位
データカセット DAT CT20G	0121190	20/40GB	5巻
データカセット DAT CT12000	0121180	12/24GB	5巻
データカセット DAT CT4000	0121160	4/8GB	5巻
データカセット DAT CT2000 (注)	0121150	2/4GB	5巻

(注) : 復元 (リード) のみ可能であり、退避 (ライト) は不可です。

### 使用上の注意

#### 1 使用カセット

上記以外のデータカセットでの退避/復元は、装置または媒体に悪影響を及ぼす可能性がありますので、使用しないでください。

#### 2 使用環境

「仕様」に記載の温度/湿度条件のもと、「取り扱い上の注意」をご確認の上、ご使用ください。

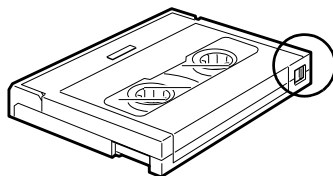
#### 3 保管環境

以下の環境のもと、専用ケースに入れ、「取り扱い上の注意」をご確認の上、保管してください。

温度 : 5 ~ 32 °C 湿度 : 20 ~ 60% (結露なきこと)

#### 4 書込保護

データカセットのデータを保護 (ライトプロテクト) するときは、図 (丸囲み) のタブをスライドさせ、オープンにしてください。



#### 5 データカセットの寿命

データカセットは消耗品です。消耗した状態で使い続けると、ヘッドに悪影響を及ぼし、読み書きができなくなったり、装置が故障する原因となります。

お使いになる環境 (温度、湿度、埃など) や装置の動作状況により異なりますが、75回の使用または1年 (週1回使用の場合) を目安に、定期的に交換してください。

# 4 クリーニングについて

本製品には以下のクリーニングカセットをお使いください。

品名	商品番号	出荷単位
クリーニングカセット DAT-N	0121170	1巻

## 1 クリーニング方法

クリーニングカセットを挿入すると、自動的にクリーニング動作が行われ、約 35 秒後に、自動的に排出されます。

## 2 クリーニングの必要性

本製品は、磁気ヘッドによるデータの読み書きを行っており、埃やゴミあるいはデータカセットのテープから発生する磁性粉にてヘッドが汚れていると、以下の悪影響を及ぼすことになります。クリーニングカセットによる定期的なクリーニングを必ず行ってください。

- ・データの読み書きが正常に行われません。  
(ヘッドに汚れがこびり付くと、永久的に使用できなくなります。)
- ・データカセットの磁気テープの記録面への汚れの付着、傷の発生により、永久的に使用できなくなります。
- ・データカセットの寿命(使用回数)が減少します。

## 3 定期的なクリーニング

以下の場合に、必ずクリーニングを行ってください。

- ・本製品の使用 24 時間毎に 1 回  
一般的には、『毎週月曜の朝』などの、定期的なクリーニングをお勧めします。
- ・本製品が未使用の場合でも、1ヵ月に 1 回
- ・新品のデータカセット挿入前
- ・本製品の Clean ランプ点滅時

## 4 クリーニングカセットの交換

クリーニングカセットを本製品でのみ使用した場合、1 巻あたりの使用可能回数は約 50 回です。以下の場合にも、新しいクリーニングカセットに交換してください。

- ・クリーニング後も Clean ランプの点滅が止まらない場合
- ・右側のリールにすべてテープが巻き取られている場合(再利用はできません。)
- ・クリーニングカセットを挿入し、1 分経っても自動排出されない場合

# 5 バックアップの運用に関する注意事項

## □ ヘッドクリーニングの実施

磁気テープ装置では、磁気媒体から染み出る汚れや浮遊塵埃により、ヘッド汚れが発生し、これらの汚れを取り除くためにヘッドクリーニングが必要です。装置がクリーニング要求を表示した場合にヘッドクリーニングを実施することはもとより、特に要求が発生しなくとも定期的にヘッドクリーニングする運用を推奨します。

また、クリーニング媒体は使用回数に限度があるので、寿命を管理してください。寿命の過ぎたクリーニング媒体を使用してもクリーニング効果はありません。

## □ 媒体の寿命管理

テープ媒体は消耗品であり、定期的な交換が必要です。

寿命の過ぎた媒体を使用し続けるとヘッド汚れを加速するなど、装置に悪影響を与えます。媒体の寿命は、装置の設置環境／動作状態／バックアップソフトウェアの種類／運用条件により大きく変化しますが、早めの交換を推奨します。

寿命の目安とするため、媒体に使用開始日を表示してください。

## □ 媒体のローテーション運用

1巻の媒体でバックアップを繰り返すような運用では、バックアップに失敗した場合、一時的にでもバックアップデータが無くなる状態になります。また、バックアップ中にハードディスクが壊れたような場合には、復旧不可能な状態になります。

したがって、バックアップは数本の媒体をローテーションして運用してください。

## □ 媒体入れ直し運用の禁止

媒体は装置内では磁気記録面が露出しており、この状態が長く続くと浮遊塵埃の影響を受けやすくなります。この状態が少なくなるように媒体は使用前に装置にセットし、使用後は取り出して、ケースに入れて保管してください。

また、磁気テープ装置では、媒体が取り出される時にテープに管理情報の書き込み処理を行うものがあります。装置に媒体を入れたまま電源を切断するとこの処理が行われないため、異常媒体が作成される場合があります。

ワークステーションの電源を切断する場合は、装置から媒体を取り出してください。

## □ バックアップ終了後の媒体の排出

バックアップソフトウェアには、バックアップ終了後に媒体をドライブから排出するように指定できるものがあります。この指定を行うとバックアップ終了後にテープが巻き戻され、媒体がドライブから排出されます。

なお、本指定を行うとワークステーションの構造によっては排出された媒体がドライブを覆う筐体カバーに当たる場合があります。この場合はカバーを開けておくか媒体の排出は行わないようにしてください。

## □ バックアップ終了後のデータの検査

バックアップソフトウェアには、バックアップ終了後にデータの検査の実行を指定できるものがあります。この指定を行うとバックアップ終了後に媒体に書き込んだデータを読み出して、書き込み内容の検査が行われますので、信頼性は高まります。一方、バックアップ業務に要する時間が長くなったり、媒体の使用回数が増えることによる媒体の寿命低下、といった短所もありますので、留意してください。

## □ 媒体ラベルの種類と貼り付け位置

媒体に名前等を表示する場合は、媒体に添付されているラベルを使用してください。また、媒体にはラベルを貼る個所が決められています。装置故障の原因となりますので、決められた以外の所にはラベルを貼らないようにしてください。

## □ データの保管

データを長期に保管する場合は、温湿度管理され、磁場の影響の少ない場所に保管してください。

## □ 媒体エラー（メディアエラー）が発生したとき

バックアップ処理やリストア処理中に媒体エラー（メディアエラー）が発生することがありますが、この発生要因は以下のいずれかが原因となっています。

- a) ヘッドが汚れ、データが読みにくくなった。
- b) テープ媒体が損傷／磨耗するなどしてデータが読みにくくなった。

前者の場合には、テープを新品に交換しても効果はありません。

したがって、媒体エラーが発生した場合には、以下の手順でリカバリしてください。

1. テープ装置のクリーニングを行う。
2. エラーが発生したテープ媒体を装着して、処理を行う。
3. 再度エラーが発生した場合には、媒体が損傷／磨耗していると思われるため、新品のテープと交換する。

## 6 デバイスドライバについて

---

Windows NT で NT Backup を使用する場合、デバイスドライバをインストールする必要があります。

本製品のデバイスドライバは、ワークステーション本体に添付の「ドライバズ CD」に格納されています。

詳細は、ワークステーション本体の『CELSIUS マニュアル』をご参照ください。

# 7 仕様

品名	内蔵 DAT ユニット	
型名	CLEDT21	
記憶容量	20GB (圧縮時平均 40GB)	
実効データ転送速度	3.0MB/S (非圧縮時)	
記録密度	122,000bpi	
装置寿命	5 年 または 6,000 時間	
エラーレート	$1.0 \times 10^{-15}$ bit 以下 (回復不可能なエラー)	
インタフェース	LVD/Ultra Wide-SCSI	
消費電力	最大 21W	
環境条件	温度	稼動時：10 ~ 35 °C 休止時：-5 ~ 55 °C
	温度勾配	稼動/休止時：15 °C /H
	湿度	稼動/休止時：20 ~ 80% (結露しないこと)

---

**CELSIUS シリーズ**  
**内蔵 DAT ユニット (CLEDT21)**  
**取扱説明書**

B5FY-2581-01-00

発行日 2002年6月  
発行責任 富士通株式会社

---

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。



FUJITSU

このマニュアルは再生紙を使用しています。

